

まちのわだい



新しい地域おこし協力隊員

井上涼さん

1月1日、井上涼さん（広川町出身・福岡市から転入）が地域おこし協力隊員に就任しました。

井上さんは上広川小から広川中、高校、大学までサッカーを続けたスポーツマン。大学時代のイギリス留学で身に付けた語学力を活かし、IT系の仕事に携わってきました。今回、町が地域おこし協力隊を募集していることを知り、Uターン移住を決意したそうです。

井上さんは現在、町商工会で研修を受けながら、町の特産や地域の現状などを学習中。「子どもたちの居場所づくりを行いたい」と将来の抱負を語りました。

グラウンド・ゴルフ大会優勝

広川町身体障害者福祉協会



11月23日(祝)、春日公園球技場で行われた「福岡県身体障がい者グラウンド・ゴルフ大会」で、広川町チーム（広川町身体障害者福祉協会）が29チーム中1位、富久良信さんが個人成績で優勝を収めました。

この大会は今年で21回目の開催。福岡県内の身体障がい者が、グラウンド・ゴルフで機能回復や体力の維持増強、相互の親睦と交流を図っています。

久留米絨の壁掛け寄贈

山村健さん



12月24日(火)、久留米絨織元の山村健さん（長延上区）から渡邊町長へ、今年の干支「子」が描かれた絨の壁掛けが手渡されました。

頂いた壁掛けは、役場応接室で大切に飾らせていただきます。

社会福祉活動で善行表彰

池田和代さん



10月16日(水)、緑ヶ丘区の池田和代さんが、（一社）日本善行会の秋季善行表彰を受けました。

池田さんは朗読ボランティアや子育て支援、介護予防教室のサポートなど、町の社会福祉に貢献。12月18日(水)にはみやま市で伝達式が行われ、表彰状を受け取りました。

適正な選挙執行に尽力

末次静憲さん



12月9日(月)、選挙管理委員会委員長の末次静憲さん（川瀬区）へ、総務大臣から感謝状が贈られました。

末次さんは平成20年から現在まで、選挙管理委員会でも適正な選挙執行に尽力。選挙制度130周年を迎えるにあたり、顕著な功績を挙げたとして評価されました。

地域の防災を誓う

消防出初式

1月13日(祝)、広川中学校で消防出初式が行われ、八女消防署や消防団員ら約150人が参加しました。

式典では角田団長が「住民に信頼される消防人としてさらなる団員の技術、組織力の向上を目指す」と決意を表明。無病息災と地域の安全を祈願する「馬簾まわし」も披露され、締め込み姿の消防団員が、放水に耐えながら纏を支えました。

式典後の分列行進では、徒歩部隊と車両部隊が登場。普段目にすることがないポンプ車や救急車などの姿に、目を輝かせる子どもたちの姿が見られました。



世界のマナーやしきたりを学ぶ グローバルお作法キャンプ

12月15日(日)、ゲストハウス Oni[®]で「グローバルお作法キャンプ」が行われ、小中学生12人が参加しました。最終回となる今回の講師は、町内に住むベトナム人とタイ人。「ベトナム人にとって家族全員が集まる旧正月は特別な日」「タイでは足裏を人に向けたり、子どもが大人の頭に触れたりしてはいけない」などを学びました。その後は餅つきに挑戦し、子どもたちが講師に「(白は)餅を付くためのお皿」と説明するなど、外国人との交流の仕方を考えました。

最後に「相手の行動を受け入れるために大切なこと」を問われた子どもたちは、「違って当たり前だと頭に入れておく」「相手の気持ちを考えて話す」と答え、グローバル時代のお作法を身に付けた様子でした。



ピンチはチャンスに！

協働のまちづくり講座

町民交流センター「いこっと」で12月10日(火)、買い物難民などの地域課題について、その解決策を考える講座が行われました。

講師はNPO法人ほえみの郷トイトイ事務局長の高田さん。参加者62人へ「買い物難民や高齢化などの消極的に捉えがちな課題は、地域の明るい未来を描くための取り組みを始めるチャンスになる」と、発想の転換の大事さを語りました。

各地で実際に行われる事例を聞いた参加者からは「このような人が集まる拠点づくりをやってみたい」などの感想が聞かれました。



大人への一步踏み出す 広川町成人式

1月12日(日)、広川町産業展示会館で成人式が開催されました。
平成11〜12年生まれの対象者202人(男96人・女106人)のうち、約82%にあたる165人が出席。色とりどりの振り袖や袴、真新しいスーツに身を包んだ新成人は、家族や地域の人など大勢から祝福を受けました。
式典では来賓祝辞や祝電披露が行われ、渡邊町長は「これからは自身自身の目で社会の現実をしっかりと見据え、学び、判断し、自らの中に確かな考え方をつくりあげてください」と新成人を激励。新成人によるイベントでは、小中学校時代の恩師からメッセージが送られました。



中村美侑さん
(馬場区)

これからは自分の興味をもったことに、自らの意志で打ち込むことができます。しかしそれらの行動には責任がつきまとうことを忘れてはなりません。働き始めて2年目。落ち込み悩んだとき、上司や先輩に支えられています。上司や先輩のようになれるよう、仕事に励んでいきたいです。



野田良多さん
(長徳区)

小さい頃は画家になりたいと思っていましたが、今は農業高校の教員を目指し、大学で学んでいます。思い描いていた将来と違う人も、その通りになった人も、それぞれの道で頑張れば良いのです。日々の感謝の気持ちを忘れず、新たなスタートを夢に向かって進んでいきましょう。

新成人
による主張
(要約)



大原風音さん
(久泉区)

この20年間、困難という壁を乗り越えることができたのは、友人や家族、地域の皆さまの支えがあったからです。今後は大人の自覚をもち、自立し、誰かを支える存在、一人ひとりに寄り添い信頼される看護師になりたいと思っています。この町や人々に恩返しできるよう、精進していきたいです。



齊藤崇海さん
(智徳区)

これから先、グローバル化やAIの導入など、社会は大きく変わります。柔軟な思考力や忍耐力、挑戦心を身につけるとともに、私たちの生活を豊かにするため、政治にも積極的に参加していきたいです。また、日々努力し、人々から信頼され、周囲への感謝を忘れない人になりたいと思います。